

教育長日記 (平成26年4月17日)

# 青い空に浮かぶ白い雲 59

—平成26年度 教育長の学校教育経営方針 解説②—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) 「失われし時を訪ねる旅が 私の明日の活力だ」(日経BP社記者 鶴飼秀徳)

皆さんの明日の活力は何により生み出されていますか、私の活力の一つは、挑戦する気概をもった校長の目の輝き

## ◆ 学校力と家庭・地域力 ◆



- ◎学校経営 (積極的な学校経営、特色ある学校、信頼、安全・安心、特別支援教育)
- 人材育成 (指導力<学習・生活・進路>学校運営力<外部連携・折衝、組織貢献>)
- 教育環境整備 (安全・安心施設整備、教育機器の整備)



東京都教育委員会の教育目標の前文には、「教育は、社会の変化に対応して絶えずその在り方を見直していかなければならないものであり、経済・社会のグローバル化、情報技術革命、地球環境問題、少子高齢化など、時代の変化に主体的に対応し、日本の未来を担う人間を育成する教育が重要になっている。」と記されています。

### (1) 学校経営について

学校は現在、校長、副校長、主幹教諭(三小は未配置)、主任教諭、教諭の5つの職層で構成されています。その中で、校長は、学校運営を円滑に進めていくために、職層や経験等を考慮しながら、人員を適材適所に配置し学校を運営しています。

校長は、教育改革のまさに実践者であり、適切な判断に基づく積極的な学校改革を行うことが求められます。このことは、教育委員会にも言えることであり、今年度も教育委員会と学校との連携・協力を深め、社会の変化に対応した新鮮な教育を展開していきます。

### (2) 人材育成

現在、団塊の世代が退職期を迎えています。経験豊富な教職員が退職した後は、若手教職員が増加し、学校全体の勢いを生みだします。しかし、一方で、学習指導、生活指導、進路指導等の指導力の質的向上が課題として浮かび上がってきます。本年度も教員に求められる資質や能力を確実に身に付けさせるなど人材育成に取り組んでいきます。

### (3) 教育環境の整備

耐震補強による安全の確保、学校給食センター建築など安全安心な教育環境づくりを計画に基づき進めていきます。書画カメラなどのIT機器を導入し、学習環境をさらに整備します。



- 家庭教育への支援 (家庭教育への支援、社会的自立応援、保護者・地域の教育参加)
- ◎地域力の活用 (積極的な人材の活用、地域の教育力コーディネート、誇り)



### (1) 家庭教育支援

家庭の教育力が高まり、「早寝、早起き、朝ご飯」が定着してきています。家庭には、家庭学習の手引きを配布し、家庭と学校とが協力して学力の向上や、読書による豊かな心の育成を進められるようにしていきます。児童生徒の努力を適切に評価し認め励ましながら自尊感情を高めていきます。

### (2) 地域力の活用

地域の人とのかかわりを通じて、社会のルールや挨拶の仕方を身につけさせていきます。地域の教育力を学習面にも積極的に活用し、学校、家庭、地域、教育委員会が一丸となって児童生徒の学力向上を目指します。

また、地域活動に参加・協力する中で、児童生徒が地域貢献の意義を学び、地域への誇りをもつように育てます。